

大谷小中学校だより

NO.14

令和4年3月24日

珠洲市立大谷小中学校

おかげさま と 修正力

校長 上田辰美

おかげさまで、令和3年度の修了式を行うことができました。今年度もコロナ禍の中での教育活動となりましたが、全員無事に過ごすことができたことに感謝したいと思います。各ご家庭でのご配慮・ご協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

年度当初、「社会に出た時、しなやかに逞しく生きる力をもった感じのいい人になってほしい」ということについてお話しました。それぞれが描く感じのいい人、・・・さわやかなあいさつができる、いつも笑顔、ピンチでも助け合える、人のせいにならない、穏やか、不平不満を言わない、人を笑わせる、誠実、正直、・・・に近づくために、教育目標は、今年度も「自己教育力を育成する」でした。集団の中で、人との関わりの中で、自分をほめたりしかったりしながら自分を鍛えていってほしいと考えていましたが、自分のことを振り返ってもなかなかできないものだと感じています。

そのような中、印象深いのは、体育祭・文化祭はもとより、1月の道徳教育研究発表会や2月の生活科・総合的学習の時間の発表会です。一人ひとりの「感じのいい」部分や助け合い、いいものをつくらうとする姿が響き合って、全体で会をつくることができていたことが何よりうれしい時間でもありました。子どもたちの元気な発表の姿、一生懸命な姿、聞いている人を楽しませようとする姿、そして、何より自分たちが楽しんでいる姿は、なんともいいものです。ご来校の方や保護者の方からたくさんのお褒めの言葉がありました。

今年度を振り返ってみて、おかげさまで、できたことへの感謝の思いを大切にしながら、できなかったなあとすることについては、どうすればいいかと考えながら修正し、修正し、・・・次をめざしていきたいと思います。次を目指したい気持ちがあると元気がみなぎってきます。

先の天皇陛下の心臓手術をされた順天堂大学の天野篤先生は、『これから生きる君へ』で、自分の人生を振り返り、「漫画ばかりを読んでいた子供時代」、「人に危険なことはしない、迷惑をかけない、それを学んだ小学校時代」、「これをやらないと次にいけないぞ、と自分にノルマを課した中学時代」、「スポーツに夢中になり挫折を重ねた高校時代」、「あきらめないことを学んだ3回の浪人生活時代」、「課せられた責任を果たしているかと自問自答した新人のころ」、「できるのいつまでたってもやらない。そんな人は尊敬されない」、「準備を怠らない心構えがよい結果につながる」、「心を平穩に保つことがプロとして生きる信頼の証」と医者としての使命感に燃えた時代、「仁の心をたすきリレーで伝えたい今」と伝えておいでます。大人の私たちも、一つ一つの年を積み上げていきたいものです。

次年度、児童・生徒のみなさんが、どんな日々を積み上げていくかが楽しみです。あなたらしいあなたの高みをめざして輝いてください。

保護者の皆様、地域の皆様、これまで学校にお寄せいただきましたご支援・ご協力に感謝申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。



令和3年度 卒業式 式辞

校長 上田辰美

穏やかな日差しの中、間もなく「花の香かおる」季節を迎えようとしています。

本日、第五回卒業証書授与式を挙げるにあたり、教育長職務代理者・賓様をはじめご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与された五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、西部小学校に入学し、平成二十八年度に本校の三年生に編入し、本日を迎えられるました。

そんな皆さんに三つのことを伝えます。

一つ目、節目について。

卒業証書を人前で受けとり、緊張したことと思います。しかし、この緊張が人を成長させます。節目で人は育つと言われています。竹は、成長する際に節ができるのではなく、初めからその数は六十個ほどと決まっておき、節の間を伸ばすことで、背丈が伸びるのだそうです。皆さんの人生においても何度目かの大切な節目の本日です。背筋を伸ばし、これまでの自分のがんばりに堂々と胸をはって巣立って行ってください。

二つ目はみなさんとの思い出について。

今年度の春、仲が良く、個性豊かな皆さんが最上級生となったことにワクワクしていました。

文化祭のブースでの絵馬やお祓い等の企画は、楽しいものとなりましたね。大人気でした。道徳教育研究発表会の授業では、仲間の意見にうなずき、自分の考えを説明し、後輩たちをリードしてくれました。ご来校の皆様が感心しておいでました。

そして、最も印象深いのは、修学旅行の写真です。青空と松本城をバックに五人の笑顔がまぶしい、いい写真でした。玄関での解散式では、一人一人が感想を発表してくれました。みなさんの成長する姿、活躍する姿を見ることができたことは何よりの喜びでした。

奨征さん、人前で発表する姿は堂々としていて、頼もしかったです。良きリーダーとしての姿は、後輩たちのお手本でした。芳野さん、たくさん楽しませてもらいました。人の話を聞いて「あ、そうですね。なるほど!」と素直に感想を伝える姿が魅力的でした。明香さんは、司会が上手で、慌てることなくピンチを切り抜ける力がありません。本をたくさん読んでの卒業ですね。晴日さんは、スポーツ万能で、高校での活躍が楽しみです。だんだん広場の大テーブルで受験勉強に取り組んでいる姿が思い出されます。志緒莉さんは、越えるべき壁を一つ一つ超えたこと、私は知っています、よくがんばりました。とても立派でした。

三つ目は幸せについて。

みなさん一人一人に、様々な思い出があることと思います。つらいこともあったことと思います。そんな中、支えてくれる人に会い、共に喜び悲しんでくれる人の存在の確かさを知ったことと思います。自分を大切に思ってくれる人がいるというのはありがたいですね。だからこそ、皆さん自身が、家族はもとより周りの人を大切にできる人であってください。きっと幸せが倍増すると思います。

また、みなさんにふるさとの良さを語ってくださる方、みなさんが喜ぶならばと思って楽しいことを企画して下さる方など、周りには素敵な大人がたくさんいることに感謝し、この地での学びを誇りに思ってください。そして、あなた自身が素敵な大人に成長して行ってください。

結びになりましたが、保護者の皆様、九年間の長きに渡り、ご支援・ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。卒業記念としてご寄贈いただきました卓球部用のネット、ミニバス用のボールかごは、大切に使用させていただきます。

今、改めて、十五年間の子育てを振り返られたとき、感慨もひとしおのことと推察いたします。お子様の更なる成長をご期待申し上げ、卒業生の皆さんをこれからも応援し続けることを誓って、式辞といたします。



令和3年度 第5回卒業証書授与式

3月11日（金）に、第5回卒業証書授与式を挙行了いたしました。教育長職務代理・濱様、産業振興課長・高林様、学校評議員・大廣様、桜ヶ平様、卒業生保護者の皆様にご臨席を賜りましたことにお礼申し上げます。コロナ禍のなかで最小限の人数での挙行となりましたが、春らしい温かな日差しの中で、心温まる卒業式となりました。

卒業生の5名は緊張した面持ちでしたが、式の始めから終わりまで大変凛々しく、立派な態度で参列していました。校長先生から卒業証書を受け取る際にも、「ありがとうございます。」とハッキリとした声で感謝の気持ちを現わしていました。式後、ご来賓の皆様からは「よい式でした。」とのお言葉をかけていただき、ありがたく思いました。

卒業生の5名は、たくさんの方々に見守られ大谷小中学校を巣立つことができました。そして、5名は自分の希望する高校への進学も決定いたしました。これまで、支え、見守っていただいた皆様、本当にありがとうございます。



頑張りの成果です。おめでとう！

3月15日（火）の朝の時間帯にだんだん広場で集会を行い、今年度最後の表彰式を行いました。

晃太郎さんの壁新聞は、主体的に市役所へ出向いて調査等を行い、まとめて応募した作品の入賞です。晃我さんの読書感想画は、昨年、市の表彰があった後、県で改めて表彰されたものです。晃我さん・陸斗さん・杏桜さんの表彰は、県内のほぼすべての学校の同級生と一人往復40mを走り、リレーを行ったタイムで競争した結果、県内で4位になったものです。4人ともおめでとうございます。

- 「私たちの暮らしと水」壁新聞コンテスト
佳作 5年 和田 晃太郎
- 第33回読書感想画コンクール
入賞 1年 國友 晃我
- スポチャレいしかわ 40m バスト部門
県4位 1年 國友 晃我
2年 後谷 陸斗・中島 杏桜



4月

教育活動		教育活動	
1	金	16	土
2	土	17	日
3	日	18	月
4	月	19	火
5	火	20	水
6	水	21	木
7	木	22	金
8	金	23	土
9	土	24	日
10	日	25	月
11	月	26	火
12	火	27	水
13	水	28	木
14	木	29	金
15	金	30	土

ありがとうございました

卒業生より卒業記念品をご寄贈いただきました。卓球部には「卓球簡易ネット」を、ミニバスケットボールクラブには「バスケットボールかご」をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



栃木県日光市の川本さんから、児童生徒に対して、「マグカップ」「キーホルダー」「ボールペン」をいただきました。次年度になりましたら子どもたちに配らせていただきます。ありがとうございました。



